

利用者懇談会報告(平成30年度)

開催日時	平成30年2月25日(日) 10時00分～12時10分
参加者数	利用団体43団体・公運審5人 計46人 大橋館長・鴨志田分館長・大江専門員・山田専門員・小幡専門員・中澤専門員
ねらい	・芝久保公民館の施設利用状況を知ってもらい、公民館利用者を増やすためにどうすればよいかを話し合ってもらうことで、今後の施設運営に役立てるきっかけとする。 ・市民同士が少人数で話し合えることで、顔見知りとなり意見交換しやすい環境を提供する。
次 第 (形 態)	1. 職員紹介 2. 公民館運営について…グループ討議「公民館の利用者を増やすためには」 3. 公民館からの報告とお知らせ 4. 団体連絡箱調整会
公民館からの連絡事項	1. 備品使用について 2. 公民館敷地内での自転車接触事故について 3. 公共予約システム更新について 4. 団体登録手続きについて 5. 平成29年度実施修理・工事について 6. 来年度事業・取組みについて
主な意見等	議題①卓球台の活用について ②印刷機について ・卓球があるならば周知して、使えるようにするにはどうしたら良いかが今後の検討。印刷機がロビーにあることは問題ない。空いた部屋は有効活用してほしい。 ・卓球台の導入は良いことだと思う。利用者を増やすためにやっていることで良いし、話し合っ合意形成すれば良い。印刷機がロビーにある方が人の目にも留まり広報になると思う。 ・卓球台導入により来館者が増えるとの考えに反対ではないが、ロビー本来の利用に支障はないか。 ・公民館側から利用者減少の状況説明や部屋の有効活用について提案があっても良かったと思う。 ・初めに卓球台を置くかどうかの話し合いが必要であった。職員と市民がコミュニケーションをとって話し合いの場を作り、今後どうしていくかを話し合うことが大事。 ・印刷室をうまく活用できる方法はないか、卓球だけ印刷だけではなく、その場でキャッチボールを生み出していく事がコミュニケーションの取り方ではないか。 ・卓球台については、色々いきさつがあつて導入したことは良いしそれはそれで結構。それに対して皆さんの意見を出し合い前向きに考えてほしい。印刷機に関しても、製本する場がないとかではなく、皆さんが使う側としてどういう使い方が良いのか、便利なのかを考えてやらないとまずい。公民館側にあれこれ言うのではなく、利用者側も考えなくてはならない。たしかに私も見ていて子どもたちの利用は非常に最近増えている。卓球に関しても個々の公民館でもPRしていけば良いと思う。・子どもがいつでも来られる場所だとありがたい。 (個人意見) ・印刷室では狭い、夜は空いているので卓球サークルを作り視聴覚室でやってほしい。…卓球台のスペースについては設置基準はなく、問題はない。(昨年10月に回答済) ・一昨年いきなり卓球台が出てきて何を考えているのか、前分館長がそういう風にした。職員と市民がコミュニケーションをとり、こういう形で卓球をやりますがどうですか皆さんと話し合いの場を作らないと何でも公民館の職員がやられてしまう。そこが一番間違っている。公民館は我々の物であり、市の物であり、地域の大事な拠点である。印刷機に関しては、図書館の方からうるさいというクレームがあつたと聞いているが、公民館職員は耳を貸さず、正しいと言っているのは間違っている。…市民の要望から卓球の試打体験を実施し、サークル仲間のコミュニケーションとしても活用して欲しい旨を利用者懇談会で参加者に呼びかけた。(平成28年9月3日) 空室での卓球開放により年間400人以上が参加。気軽にだれでも楽しめる娯楽として、健康増進にも

	つながっている。「健康都市宣言」も踏まえ子どもから大人まで誰でも楽しめる身近なレクリエーションとして継続していく必要性と市民のニーズの高さが伺える。空室の有効活用の取組み及び個人利用者への開放的な施設運用は、企画政策課からの支持事項でもある。(昨年 10 月に回答済) 芝久保図書館長に即日うるさいというクレームがあるか再度確認を取るが、全ての図書館職員はクレームを聞いていないことを含め、図書館窓口においても印刷機に関するクレームは、今までも一切ないことを確認済み。(平成 30 年 2 月 27 日確認済) ・一年半も私たち(利用連)の要望書に返事がなかったのは非常におかしい。…平成 29 年 3 月 31 日に要望書が提出。平成 29 年 10 月に回答済。 ・社会教育法にスポーツとあるが、卓球台は体育系に任せて欲しい。社会教育と学校教育の融合を考えた時に、けやき小の体育館を使うことを提案…社会教育法第 20 条の目的達成のために第 22 条における「体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること」があり、公民館で行う卓球は、レクリエーションとして広く市民の健康増進に寄与することを目的としています。子どもたちの居場所としての公民館の役割として、ロビーでゲームやカードで遊ぶだけを目的に公民館に足を運ぶのではなく、卓球を通して世代を超えた身近なコミュニケーションツールとして活用できると考えます。学校から帰宅後、行く場所、集まれる場所があることが大事であり、地域の人々と顔なじみになることが世代間交流に繋がると考えています。少子高齢化が加速していく中、子どもたちや青少年との接点があることはとても大切であり、地域の人々の見守りは必須です。一部の市民だけではなく、多くの不特定多数の市民が利用する公民館となるように、公民館を使ってもらうために幅広いニーズに応えていきたいと考えます。(昨年 10 月に回答済) ・利用率については、田無やひばりと比べても勝てるわけがない。…利便性が悪くても、利用者を増やすための工夫は必要と考え、今後も対応策を検討していきます。六館の比較や運営効率については、今後も検討課題とします。 館長…印刷室を具体的にどう使いたいかという意見がなかったので、印刷機は、まず一旦印刷室に戻し、もう一度しっかり議論した後に、どのように使うことが良いかを話し合えば良い。多目的室として活用していきましょうという方向性が出ればそれで良いし、そうではなく現状のロビーの使い方の方が居心地が良いというのであれば、そのようにすれば良い。卓球台についても話し合いの場を設け、ロビー利用者の方たちからも意見を伺わなければいけない。ロビーにアンケートを置くなどの方法で意見を集約しながら利用について考える場を設けていきたいと思う。
印象、反省点	・ 4～5 人のグループ形式の話し合いにしたことで活発な意見交換ができたが、時間が短く十分な話し合いとまではいかなかった。次回、利用当事者抜きの話し合いにならないよう多くの印刷機利用者、また卓球利用者が参加できるような日にちを設定していければと思う。 ・ 臨時利用者懇談会の開催時期は、すぐに出席はできないという市民の声と公民館だより掲載の希望を受け 7 月以降に実施予定
配布資料	レジュメ、グループ討議資料、印刷機に関するアンケート結果

【芝久保公民館】